

# 全国学力・学習状況調査結果報告（善防中学校）

平成31年4月18日（木）に実施された「令和元年度全国学力・学習状況調査」の結果について、本校の概要を報告します。

## 1 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に行われています。そのねらいは、学力と学習状況の両面からの調査によって、児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善に役立て、義務教育の機会均等とその水準の維持向上めざすものです。

これまで国語と数学に関する調査は、主として「知識」に関する「問題A」と、主として「活用」に関する「問題B」で構成されていましたが、今回はそれらが一体となった問題となりました。加えて、英語に関する調査もはじめて行われました。

## 2 学力に関する状況について

— 「教科に関する調査」結果から —

	全国	県	加西市の概要
国語	73	73	全国平均と比較して、 <b>加西市内の中学生</b> は、「数学」と「英語」は「 <b>やや高い</b> 」、「国語」は、「 <b>同程度</b> 」の数値を示しています。
数学	60	62	
英語	56	58	

※ 全国平均との差が「±0.0～1.0」を「同程度」、「±1.1～3.0」を「やや高い・やや低い」、「±3.1～」を「高い・低い」としています。

### 【本校の学力】

#### （1）国語

全国平均と比較して、「**高い**」数値を示しています。

学習指導要領の領域別では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」は「**高い**」数値になっています。そして、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、「**やや高い**」数値を示しています。

出題の趣旨から特に正解率が良好だったのは以下の5つです。

- ① 文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。
- ② 話し合いの話題や方向を捉える。
- ③ 書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する。
- ④ 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く。
- ⑤ 語句の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する。

出題の趣旨から特に課題があったのは以下の2つです。

- ① 封筒の書き方を理解して書く。
- ② 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える。



#### （2）数学

全国平均と比較して、「**高い**」数値を示しています。

学習指導要領の4つの領域、「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の全てにおいて、「**高い**」数値を示しています。

出題の趣旨から特に正解率が良好だったのは以下の3つです。

- ① 平行移動の意味を理解している。
- ② 簡単な場合について、確率を求めることができる。
- ③ 反例の意味を理解している。(反例とは、「AならばBである」という命題において、「Aは満たすが、Bは満たさない」例をいう)

出題の趣旨から特に課題があったのは以下の3つです。

- ① 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。
- ② グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができる。
- ③ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。

### (3) 英語

全国平均と比較して、「高い」数値を示しています。

学習指導要領の領域で見ますと、「読むこと」「書くこと」は「高い」数値を示していますが、「聞くこと」については「やや高い」、「話すこと」については「低い」数値でした。

出題の趣旨から特に正解率が良好だったのは以下の2つです。

- ① 英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる。
- ② 語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる。

出題の趣旨から特に課題があったのは以下の4つです。

- ① 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる。
- ② 書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう話の内容や書き手の意見などを捉えることができる。
- ③ 聞いて把握した内容について、やりとりをすることができる。
- ④ 月日に関する基本的な表現を理解して、応答することができる。

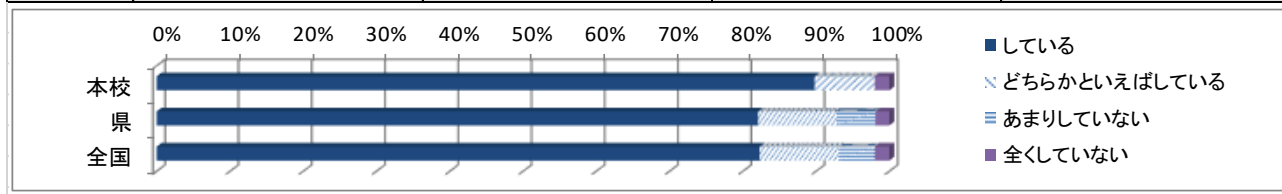


## 3 生活習慣や学習習慣について

生徒たちの学力は、生活習慣や学習習慣が基盤となります。そこで、本校生徒の生活習慣や学習習慣のうち、特徴ある項目について全国・県と比較しました。

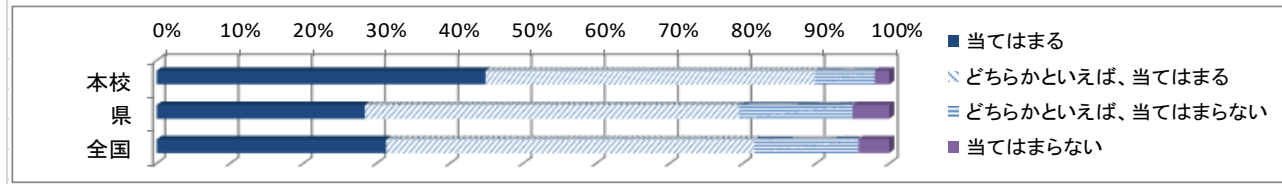
### ① 朝食を毎日食べていますか

	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
本校	89.8	8.2	0.0	2.0
県	82.0	10.7	5.3	1.9
全国	82.3	10.8	4.9	2.0



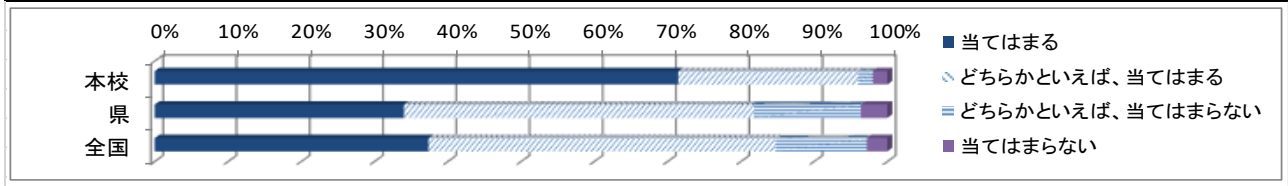
### ② 先生は、あなたのよいところを認めてくれますか

	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
本校	44.9	44.9	8.2	2.0
県	28.4	51.0	15.5	5.0
全国	31.3	50.2	14.2	4.2



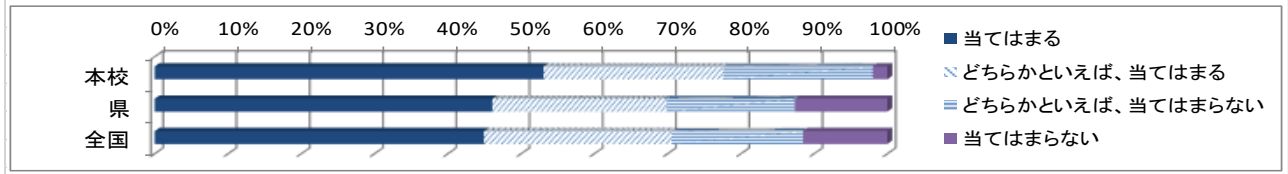
③ 先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思いますか

	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
本校	71.4	24.5	2.0	2.0
県	34.0	47.7	14.6	3.6
全国	37.3	47.3	12.4	2.8



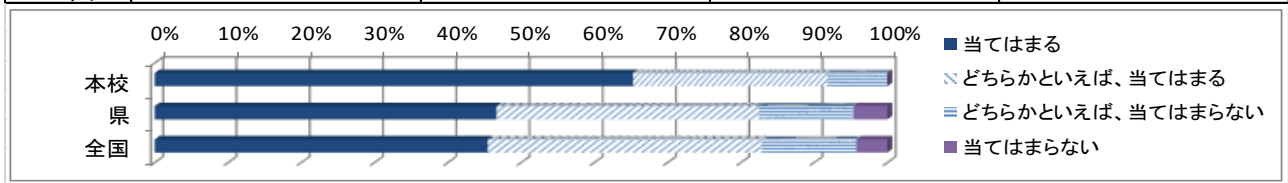
④ 将来の夢や目標を持っていますか

	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
本校	53.1	24.5	20.4	2.0
県	46.0	23.7	17.5	12.6
全国	44.9	25.6	17.9	11.5



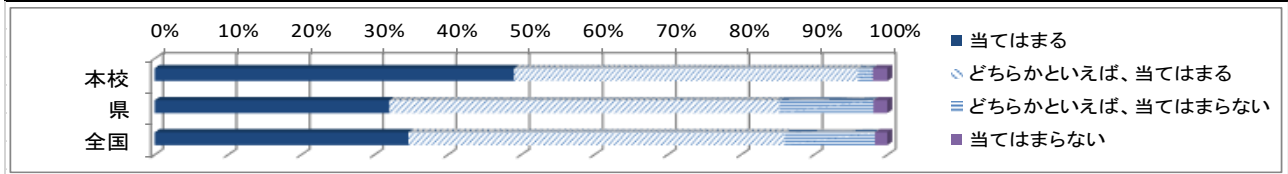
⑤ 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか

	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
本校	65.3	26.5	8.2	0.0
県	46.6	35.8	12.9	4.6
全国	45.4	37.4	12.9	4.2



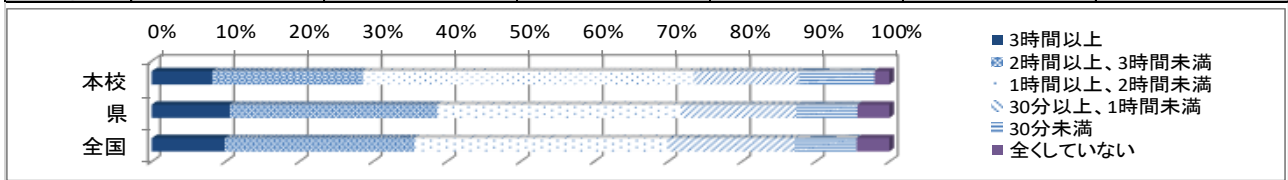
⑥ 人が困っているときは、進んで助けていますか

	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
本校	49.0	46.9	2.0	2.0
県	32.0	53.2	12.8	1.9
全国	34.6	51.3	12.3	1.7



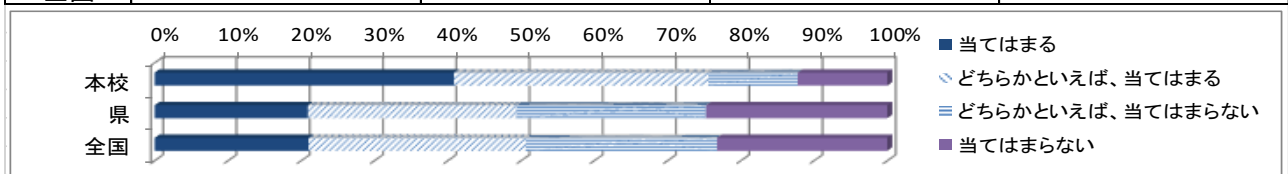
⑦ 学校の授業以外で、普段、1日どれくらいの時間、勉強しますか

	3時間以上	2時間以上、3時間未満	1時間以上、2時間未満	30分以上、1時間未満	30分未満	全くしていない
本校	8.2	20.4	44.9	14.3	10.2	2.0
県	10.6	28.1	33.0	15.7	8.3	4.3
全国	9.9	25.6	34.3	17.2	8.4	4.4



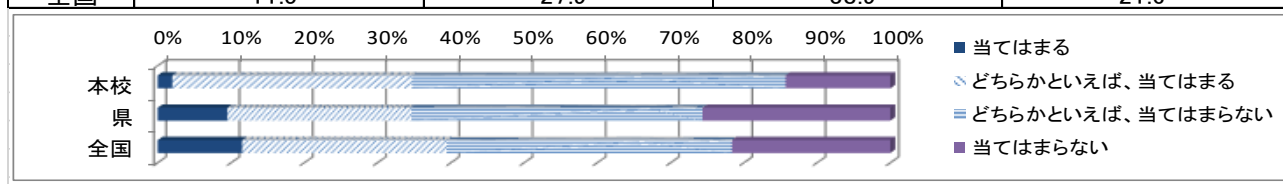
⑧ 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
本校	40.8	34.7	12.2	12.2
県	20.9	28.4	25.9	24.7
全国	21.0	29.6	26.1	23.2



⑨ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
本校	2.0	32.7	51.0	14.3
県	9.5	25.1	39.7	25.6
全国	11.5	27.9	38.9	21.6



## 4 考察

本校の生徒は、全国・県と比較して、「朝食を毎日食べている生徒」や「毎日、同じくらいの時刻に起きている生徒」の割合が多いなど、基本的な生活習慣が身につけている生徒が多いと言えます。また、学級で協力して取り組んだり、人が困っているときに進んで助けたりするなど、協調性や思いやりのある生徒も多くいます。さらに、「将来の夢や目標を持っている生徒」の割合が多くなっているのは、昨年度から取り組みを進めている「キャリア教育」の成果の一端が現れつつあると考えられます。しかし、家庭学習の時間がやや少ないなど、学力向上を図る上では、まだ改善の余地があります。また、地域の行事に参加している生徒の割合は多いものの、地域や社会への貢献について考える生徒が少ない状況が見られます。今後は、本校の特色でもある「ボランティア活動」のさらなる充実を図るなど、主体的に考え、行動する生徒の育成に努めたいと考えています。

国語においては、「朝の読書」で継続的に本を読む場を設定してきたことにより、「読むこと」に慣れ、「読書」から言葉や表現を学び、「書くこと」に活かすことができるようになってきました。また、文章を書いた際には、グループで互いの文章を読み合い、よい表現を伝え合ったり、推敲したりする取り組みが成果として現れていると考えます。今後の課題としては、内容の理解を確かなものにするために、文章構成を意識して読むことや要約する力をつけることが必要であると考えます。

数学においては、グループ学習を取り入れ、生徒が主体的に学ぶ取り組みを行っています。その際には、自己解決しようとする姿や、自分の考えを周りに伝えようとする姿が見られます。また、基礎学力が低いために、数学の良さや有用性を感じられず、形だけの学習になっている生徒も多いため、基礎的な問題を多く解くことで、自信や達成感をつけさせ、数学に対して前向きに取り組む姿勢を持たせる指導も行っています。生徒間の学力差が大きいことが大きな課題で、これまで以上に個々の生徒にあった課題への取り組みを通じて、よい学習習慣や数学的な力を伸ばしたいと考えています。

英語においては、興味・関心を高めるために、身近な話題を取り上げ、ペアやグループでの活動を取り入れるなど、生徒が苦手意識をなくし、楽しく学習に取り組めるように努めています。生徒たちは、どの活動も前向きに取り組めており、ある程度答えの決まった質問にはすばやく反応することもできます。しかし、即興的なやりとりでは、簡単な答えであっても、間違いを恐れ、黙ってしまう生徒も多く、自分の考えを表現することは苦手です。今後は、即興性を必要とする活動を取り入れていくことで、間違いを恐れず、自ら発信する力を身につけていきたいと考えています。



## 5 今後の取り組みについて

- ・「キャリア教育」のさらなる推進を図り、生徒に「学ぶ意義」を理解させ、「学ぶ意欲」の向上を図る。
- ・家庭学習の充実を努め、基本的な学習習慣の確立を図る。
- ・基礎基本の定着を図るため、スモールステップによる学習と問題の振り返りを意識した指導を継続する。
- ・「読書活動」をさらに推進し、生徒が言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにするように取り組む。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努める。
- ・ICT機器を利用したデジタル教材やプリント教材の活用により、生徒の基礎学力の定着や学習意欲の喚起に努める。
- ・地域と連携した教育活動や、ボランティア活動の充実を図り、生徒に地域社会で生きる意識を醸成する。